

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相生市看護専門学校建設工事	階数	地上2F
建設地	兵庫県相生市旭二丁目95番1の一部	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2023年8月01日
敷地面積	4,709 m <sup>2</sup>	作成者	小西 龍機
建築面積	1,456 m <sup>2</sup>	確認日	2023年08月03日
延床面積	2,566 m <sup>2</sup>	確認者	谷口 芳紀



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 2.5% ≤ [昼光率] 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。 ビル全体の禁煙が確認されている。	<b>Q2 サービス性能</b> 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。 給水HIVP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> = 0.53。 [BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.31。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率56%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される